

平成30年度

学校関係者評価報告書

平成31年 4月 1日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

はじめに

宮崎医療管理専門学校では、学則及び自己点検・評価規程に拠り、自己点検及び学校自己評価を実施しております。平成30年度の学校運営や教育活動等についても、年度初めに全教職員に提示した要項に基づき、年間を通して評価活動を行い、その結果を平成30年度学校自己評価報告書として取りまとめました。

以上をもとに、平成31年3月25日に第2回学校関係者評価委員会を開催しましたので、その評価結果について、ここに報告いたします。

なお、本報告書につきましては、学校自己評価報告書と同様、本校のホームページにて公開いたしますことを申し添えます。

平成31年 4月 1日
学校法人 東洋学園
宮崎医療管理専門学校
学校長 川野 竜太郎

1. 宮崎医療管理専門学校 学校関係者評価委員会 委員一覧

関係機関・団体・企業	職名	氏名	備考
医療法人 慶明会	常務理事	牧野 剛	
社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会	総務課長	井畑 信二	※欠席
医療法人社団 善仁会 総合健診センター	統括	川端 利彦	委員長
社会福祉法人 芳生会	施設長	坂口 和幸	同窓会会長
社会福祉法人 恵浄福祉会	園長	川添 教道	
医療法人財団 高信会	総括課長	野中 恵子	

事務局

宮崎医療管理専門学校	学校長	川野 竜太郎	自己点検・評価 委員会委員長
〃	教務部長	川野 哲朗	自己点検・評価 委員会委員

2. 委員会次第等

1) 日時 平成31年 3月25日(月) 14:00~15:10

2) 場所 宮崎医療管理専門学校 会議室

3) 次第

- (1) 開会、委員長挨拶
- (2) 事務局挨拶
- (3) 平成30年度自己点検・評価報告
- (4) 各委員からの評価及び意見
- (5) まとめ

3. 内容

※井畑委員について、関係資料の提示、説明のうえ、ご意見等をいただき、次年度教育課程編成の参考にさせていただく。

1) 川端委員長挨拶

今年度中間の学校自己評価をふまえ、改善を含め、十分な取組が窺える。特に学校経営に関する事項について、委員それぞれの評価や入学対象者の視点や関心を高める手立て等について、忌憚のない意見を出していただき、当校が抱える課題の改善につなげていきたい旨の内容。

2) 事務局（学校長）挨拶

本年度の学生募集の結果をふまえ、各委員の評価や意見、関係団体等との連携をさらに密にしていき、具体的な改善に努めていきたい旨の内容。

※次期委員再任の承諾をふまえ、委員委嘱状を配布、確認いただいた。

3) 自己点検・評価の取り組み状況、結果について

- ・学校評価の内容、方法、根拠の説明 <事務局：教務部長>
- ・平成30年度自己点検及び評価報告 <事務局：学校長>

<評価項目>

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|--------|
| 1 教育理念・教育目標 | 2 学校運営 | 3 教育活動 | 4 学修成果 |
| 5 学生支援 | 6 教育環境 | 7 学生の受け入れ募集 | 8 財務 |
| 9 法令等の遵守 | 10 社会貢献・地域貢献 | | |

4) 各委員からの評価及び意見 ※質問を含む

(1) 川添委員（項目7）

- ・オープンキャンパスの参加者、内容について
→ 前年度比増であるが、受験につながっておらず、歩留まりは低迷。
- ・高校生の現場体験等、職業理解の場としても積極的に協力していきたい。
- ・保育人材確保も苦慮しており、就職フェア等で様々な工夫をしている。高校生の要望等をふまえ、学校紹介や体験授業以外のイベントを取り入れてはどうか。

(2) 牧野委員、坂口委員（項目3）

- ・医療事務系1年コース、職業訓練生（介護）の状況について（項目3）
→ 1年コースについて、カリキュラムの見直しで可能だが、他校の状況等からニーズとしては少ない。2年課程及び専攻科においてこれまで以上に資格取得の指導体制を強化していきたい。
→ 職業訓練生の募集について、昨年以上に厳しい。他業種の雇用情勢等をふまえ、介護の魅力を伝える手立てを講じていきたい。

(3) 川端委員、野中委員（項目1、項目3、項目7）

- ・本校入学理由について、入試だけでなく入学後のアンケート等で把握し、本校の特色を明確にし、カリキュラム編成や募集活動等での情報提供時に反映させてはどうか。
- ・本校選択の理由として、現場にいる卒業生より外見より内面（本質）を大切にしているとの声あり。本校の教育理念や方針をふまえ、教職員の関わりの様子等を伝えることも必要。
- ・時期ごとのイベントだけでなく、社会福祉科の「交流ゼミ」と同様、普段から学年、学科を超えた学生、教職員間の交流を充実させては。現場での協調性や対応性にもつながるのでは。
 - 実施している内容もあるが、それぞれについて再度検討し、充実させていきたい。

(4) 牧野委員（項目3 ※関連）

- ・特色ある課外活動を設け、学校生活全体の活性化を図ることで、教育活動に良い影響を与えるとともに、先輩から後輩の呼び込みにもつながるのでは。
 - 現在の部活動等を含め、課外活動の充実を図っていきたい。

(5) 野中委員、川端委員（項目6、項目10 ※関連）

- ・本校のアクセスの良さ（JR等）を具体的に工夫して伝えていく。
- ・本校のロケーション（地域性、自然等）を発信し、広い視点で本校の存在価値を伝えていってはどうか。

(6) 川端委員（項目5）

- ・進路指導や卒業生支援について、ネットワークが構築できている同窓会を大いに活用してほしい。

(7) 坂口委員、野中委員（項目10）

- ・ボランティア活動に勢いがなくなっているのでは。社会貢献だけでなく、本校の認知度、評価を高めるうえでも全学的な取組が必要。
- ・学生が成長できる機会にもなり、教育の一環として積極的にボランティアに参加するしかけづくりが必要。事後のフォローにより教育効果も図れる。
 - 関係部署を中心に、教員主導で充実させていきたい。

(8) 牧野委員（項目5）

- ・施設の奨学金制度の状況はどうか。
 - 医療機関では複数設けており、看護師養成等で利用されているが、福祉施設については件数も少なく、本校での利用はない。県の修学資金制度利用学生は増えており、経済的支援としては、以前と比べ充実してきている。

5) まとめ

川端委員長

本委員会での意見等を、今後のカリキュラム編成や学校経営につながる様々な取組に活かしていただきたい。各委員としても、現場や卒業生、実習生の状況等をふまえ、本校評価や運営に係る課題の改善に協力していきたい。

※ [学校運営] [学修成果] [財務] [法令等の遵守] について、特にご意見等なかったが、学校運営や財務にも関連づけて改善に取り組んでいきたい。

※学修成果について、教育課程委員会における各学科長（委員）からの報告もふまえ、関連事項の改善及び教育課程編成につなげていきたい。

以 上